

日本共産党 八幡市議団ニュース

2020年8月2日 No.706 発行：日本共産党八幡市議会議員団

◇TEL075(983)2005 ◇メール jcp-ywta@am.wakwak.com

ホームページは「JCP八幡市議団」で検索してください



連絡先

山本邦夫(982)8844 ★くらしの相談、お気軽に
巖 博(982)9663 亀田優子(982)1277
中村正公(983)8312 澤村純子(983)6275

少人数学級 もっと前へ

京都式少人数教育は限界

八幡市の30人以下学級

小学校 59%⇒77%

中学校 23%⇒26%

中学ではほとんど進まず

新型コロナ感染対策として、子どもたちが学ぶ学校での少人数学級が注目され、全国知事会、市長会などが政府に少人数学級を提言しています。少人数学級は、子どもの教育環境を改善するとともに、コロナ感染対策としても重要です。

八幡市議団が調査

日本共産党八幡市議団は、八幡市の小中学校の学級規模について調べてみました。

小学校では、2010年度に30人以下のクラスは58.5%でした。2020年度は小学校の全学級数121クラスのうち、30人以下は93クラス、76.9%に増えています。すべての小学校で、30人以下のクラスを実現し、さらに25人以下のクラスをめざすべきです。

中学校ではどうでしょうか。

中学校における30人以下のクラスは、

2010年度は22.6%でしたが、10年間後の2020年度も25.5%でほとんど変わっていません。ちなみに昨年度2019年度は16%に過ぎませんでした。中学校では、少人数学級をめざす取り組みが大幅に遅れています。

少人数学級を真正面にすえて

京都府は、小学1・2年生の補助教員の配置に加えて、小学3年生以上では少人数学級、少人数授業を選択できる「京都式少人数教育」を実施しています。

この制度は、少人数学級が進んでいない時点では一定の効果がありましたが、今回の市議団の調査によって明らかのように、この制度の限界が浮き彫りになりました。新型コロナ感染対策に取り組む今こそ、先生を大幅に増やして少人数学級を真正面にすえた取り組みが必要です。

市内小中学校の学級規模の変化

小学校

左側：30人以下。右側：31人以上 (%)

2010年度

58.5

41.5

2020年度

76.9

23.1

中学校

2010年度

22.6

77.4

2020年度

25.5

74.5

